

2019年度 愛媛県NPO法人活動助成事業実施報告

特定非営利活動法人西条自然学校

生物多様性普及啓発イベントの開催

この事業は、愛媛の生物多様性に関する講演、展示、体験などを行い、広く愛媛の自然、生物多様性について関心を持っていただくことを目的に開催した。

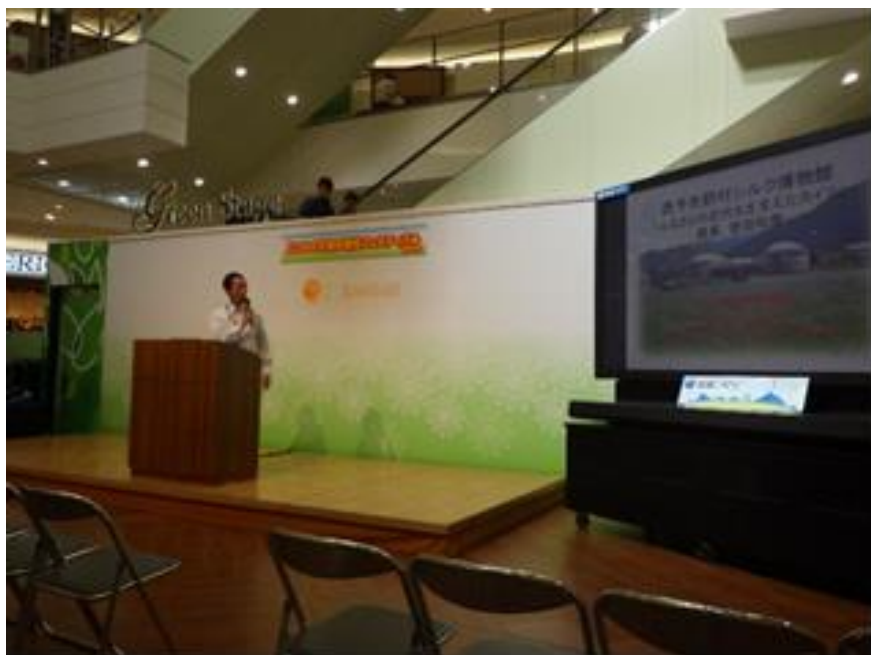
会場は多くの来場者が見込める大型ショッピングモールエミフルM A S A K I（伊予郡松前町大字筒井850）とし、講演や展示などを行うことで、多くの方に気軽に参加できるイベントを目指した。



開催日：令和元年10月5日（土）・6日（日）

講演

野村シルク博物館館長 密田和彦氏、とべ動物園前園長 田村千明氏、特定非営利活動法人西条自然学校理事長 山本貴仁氏が登壇し、それぞれの立場での自然や生きものとの関わりなどを紹介した。



野村シルク博物館館長 密田和彦氏

タイトル「故郷の近代化を支えたカイコ」

カイコの生態と製糸産業の盛衰、今後の地域の発展のかたちを模索する人々の活動を紹介した。



県立とべ動物園前園長 田村千明氏

タイトル「どうぶつが教えてくれたこと」

動物園では、生きものの飼育や展示を通して地域の人々への環境教育や、傷病動物の保護などを通じて生物多様性への理解を図っていることなどを紹介した。



特定非営利活動法人西条自然学校 山本貴仁氏

タイトル「石鎚山系の自然とシカ」

現在の石鎚山系の自然環境と、シカが増加してきた経緯、また異常に増加することにより懸念される被害や、予想される生物多様性の減少について紹介した。

野村シルク博物館の展示

カイコの生態や地場産業を守る取り組みが紹介された。



刊行物の紹介



カイコの模型と機織り体験コーナー

特定非営利活動法人西条自然学校の展示

石鎚山系のニホンジカや希少植物に関するパネルの展示やニホンジカの毛皮，頭骨，食痕などの展示を行った。



「シカが増加して起こること」・「シカのサイン」 「愛媛の希少な植物」のポスター展示

ニホンジカの頭骨や毛皮、好んで食べる植物などの展示を行った。
週末の昼間ということもあり、多くの家族連れが来場し、普段目にする事のない頭骨の観察をしたり、毛皮を撫でたりすることで、シカという動物を理解を示すきっかけをつくることができた。



頭骨（♂）



毛皮（夏毛）

まとめ

生物多様性の保全は、私たちの暮らす環境の維持や、第一次産業にとって重要な課題であるものの、多くの方が関心を持っているとは言えない。

そこで、大型ショッピングモールにて、愛媛の生物多様性に関する講演、展示、体験などを行い、広く愛媛の自然、生物多様性について関心を持っていただくことを目的に生物多様性普及啓発イベントを開催した。

イベントでは愛媛県を代表する自然環境である石鎚山系の自然の大切さや、現在進行中であるニホンジカの増加に関する講演、展示も行った。

週末の開催であり、多くの聴講者、来場者があった。ニホンジカの展示では、実物の頭骨や毛皮に関心を示す方が多く、パネルの内容についてスタッフが随時解説した。

従来開催されてきた生物に関するイベントでは、愛好者が集まることが多いが、ショッピングモールでの開催することにより、普段、生物に関心の少ない層にも愛媛県の自然や生物について、知っていただく機会を持つことができた。